

学級活動指導案

平成20年〇月〇日第〇校時
平成20年〇月〇日第〇校時
〇年〇組（教室） 指導者

- I 題材名 「最上級生に向けての自覚をもとう～学校生活のルールやマナーの振り返りを通して～」
学習指導要領 学級活動 内容（1）学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題
（2）適応と成長及び健康安全 ウ集団の一員としての自覚や責任

II 考察

1 題材設定の理由

中学2年生は、生徒会活動や部活動などの諸活動を3年生から引き継ぎ学校の中核となる存在である。特に二学期はさまざまな学校行事を通して、自己の価値観を深め、集団としての向上を図る時期である。このような中学2年生に、学校生活の振り返りを通して、身近にある規範の意義について考えさせることは、規律ある学校生活を築く上で重要なことだと考える。学校生活の中にはさまざまな規範がある。校則や生徒のきまりと呼ばれる規則、学校目標や学級スローガンのような目標、人間関係を築く上で重要なマナーや礼儀、人としてあるべき姿である道徳などさまざまな規範が存在する。しかし、中学生にとってこれらの規範を細分化してとらえることは難しいことである。このような身近にある規範を「学校生活のルールやマナー」としてとらえさせ、生徒が自らの力で見つめ直すことで、規範の意義に気づき、集団の一員としてどのように行動すべきかという規範意識を高めることができると考えた。

2 生徒の実態

本学級の生徒の規範意識の実態把握調査からは、ほぼ平均的な生徒の姿が見られる。やや良かった点は学校の備品などの公共物を大切に扱う点、万引きの防止意識が高い点が見られる。一方、きまりそのものを守っている意識はやや低い傾向にあり、きまりについての授業や自ら考える機会をもつことについては消極的である。また、飲酒や喫煙についての忌避意識がやや低いことや、友達とのコミュニケーション能力の数値があまり高くないことから、人は人、自分は自分という意識が強く、自己の行動の判断基準が閉じていると考えられる。このような生徒に、学級活動委員会を活用してルールやマナーについて、生徒同士が主体的に考えを交流させることで、自己の行動の判断基準を広げることができると考えた。

10月に行った東京班別学習の振り返りからは、電車内や見学地で大きな声で話したり、騒いだりすることなど公共のマナーにかかわることを意識して行動できた生徒が半数程度あり、中学校入学後初めての公共の場で学習をする意識が高かったと言える。一方、集合時間が守れなかったり、班別行動計画を勝手に変更したりといった、旅行的行事がもつ集団全体に進行や安全の確保に影響する特有なルールについては十分に守ることができなかった。班別行動では比較的起こりやすいことであるが、計画の段階からこれらに関する意識が低かったといえる。このような生徒に、学校生活の中にあるさまざまなルールやマナーの意義を、学級集団との関係を通して考えさせることで、多面的な見方でルールやマナーをとらえられるようになり、規範意識を高めることにつながると考えた。

III 指導目標

生徒の規範意識を高めるために、学校生活の振り返りを通して、身近なきまりの意義について考える。

IV 評価規準

- 1 学校生活のさまざまなルールやマナーについて、重要かどうか、守れているかどうかについて話し合い、学級に必要なルールやマナーについて考えている。
- 2 身近なルールやマナーを守ることが、自分や相手、学級集団に与える影響について話し合い、ルールやマナーを尊重しようとしている。

V 指導方針

- 1 本題材「最上級生に向けての自覚をもとう～学校生活のルールやマナーの振り返りを通して～」では、学級や学校における生活上の諸問題について話し合う学級活動1「学校生活を振り返って、クラスに必要な学校生活のルールやマナーについて考えよう」と集団の一員としての自覚や責任について考える学級活動2「身近なルールやマナーの意義について考えよう」の2時間扱いとする。
- 2 学級委員と生徒会本部役員から編成した学級活動員会を活用して話し合い活動を行うことで、生徒に自分たちの問題だという意識をもたせると共に、学級活動委員会の生徒のリーダーシップの涵養を図る。
- 3 学級活動員会に対する事前の指導に当たっては、東京班別学習等の学校行事の振り返りを生徒の実態把握に生かすと共に、学級の現状や課題、理想とする学校の姿を話し合うことで連帯感をもたせたり、生徒に実施するアンケートを作成させたりすることを通して活動に対する意欲を高める。
- 4 学習活動の導入では、ゲームの要素のある予備活動を行い、話し合い活動の練習と共に、雰囲気作りを行う。

- 5 話し合いは学級活動員を班長として、特別に編成した班で話し合う。その際、班長には「話し合いの心得」を作成しておき、活用させる。
- 6 班での話し合いを深めるために、付箋紙やマトリクスなどを使用して、話し合いの焦点化を図れるようにする。
- 7 学級活動の終末では、ワークシートを使用して、自分のまとめる。

VI 指導計画

過程	活動時間	主な活動内容	主な指導上の留意点・支援
事前指導	総合	東京班別学習の振り返りの実施	
第1回学活委員会	放課後	活動内容の設定	教師は傾聴を心がけ、生徒の思いや考えを十分に引き出す。
第2回学活委員会	放課後	アンケートの作成	
事前指導	朝の会	アンケートの実施	記名式で行うが、自分の考えを素直に表現するよう、学級活動員会を通じて投げかける。
第3回学活委員会	放課後	アンケート集計と資料作り、班編成	
第4回学活委員会	放課後	学級活動1のリハーサル	
学級活動1	学級活動	学校生活のルールやマナーについて自分たちの感じ方を話し合い、学級に必要なルールやマナーについて考える。	相手の考えを尊重して和やかな雰囲気でも話し合えるように、班長に事前に指導する。
第5回学活委員会	放課後	学級に必要なルールやマナーの集計・資料作り	
第6回学活委員会	放課後	学級活動2のリハーサル	
学級活動2	学級活動	身近なルールやマナーについて、なぜ必要なのか、自分や相手、集団に対しての影響をもとに話し合う。	自分とは違う意見でもしっかりと受け止めると共に、疑問に思える点は質問できるように、班長に事前に指導する。
事後指導	放課後	個人の目標カードの掲示	掲示用フォルダに掲示すると共に、生活ノート等を活用して振り返らせる。
第7回学活委員会	放課後	学級活動と学活委員会の振り返り	

VII 展開

1 学級活動1

<p>1 活動のテーマ 学校生活を振り返って、クラスに必要な「学校生活のルールやマナー」について考えよう。</p> <p>2 活動のねらい 学校生活を振り返り、きまりを守る態度について考える。</p> <p>3 生徒の活動の経過と教師による指導・援助</p>			
	生徒の活動 ※学級活動委員の活動	時間	指導・援助の留意点
導 入	<p>【開会行事を行い、自主的に取り組もうとする意識を高める】</p> <p>○学級活動委員(学活委員)の司会で、授業の開始を宣言する。</p> <p>○教師の思いを聞く</p> <p>○話しやすい雰囲気作りと話し合い活動の練習として、ゲーム性のある予備活動を行い、自分の考えを話し、人の意見を聞く意欲を高める。</p>	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのグループに移動して着席した状態から行う。グループは組まない。 ・教師は学級全体で協力的に話し合いが行えることを希望する旨を話す。
	<p>【予備活動：考えを出し合う練習】</p> <p>連想ゲーム：自分の考えを発言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題について連想する短い言葉を班員が順番に発言していく。 ・制限時間30秒以内にいくつ、発言できたかを競う。 <p>〈題〉 (見本)「カエル」(1)「〇年〇組」(2)「校則」</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・予備活動は、学活委員が見本を示してから、他の生徒が取り組む。 ・題の提示、時間管理は教員が行う。
	<p>【きまりについての学級の問題意識を高める】</p> <p>○学活委員から今日の活動のねらいと生徒用アンケート結果の報告を聞き、自分たちの課題をつかむ。</p> <p>〈アンケート内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーは大切だと思うか。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を模造紙1枚程度にまとめてボードに貼り提示させる。 ・アンケート結果は円グラフなどで表現できるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを守っているか。 ・ルールやマナーを守れない理由。 ・意識して守っている学校のルールやマナー。 	分	
展 開	<p>【学校生活を振り返って、自分たちのルールやマナーに対する接し方の特徴を考える】</p> <p>○班毎に学校生活の中の「ルールやマナー」について、「重要度」と「守れている度」で整理する。</p> <p>〈話し合いの手順〉</p> <p>①付箋紙に思いつく限りの「学校生活のルールやマナー」を書き出す。</p> <p>②マトリクス(ルールメーター)に「重要度」と「守れている度」を考えて貼る。</p> <p>③同じ「ルールやマナー」を重ねて貼る。</p> <p>④貼り出された「ルールやマナー」を確認し、自分たちの「ルールやマナー」の特徴について話し合う。</p> <p>〈予想される意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時のヘルメットの着用 ・あいさつをしっかりとる ・登校時間を守る ・廊下は走らない ・いじめはしない ・給食のおかわりは、食べ終わってから ・チャイム着席をする ・靴のかかとをふまない ・中学生らしい髪型をする ・制服をきちんと着る ・正しい言葉使いで話す ・授業中は静かにする ・そうじをさぼらない。 <p>○話し合いを深める場合には、特にそのルールを「守れない理由」や「重要だと考える理由」「重要でないとする理由」に注目するように、班長に事前に指導する。</p>	20分	<p>○話し合いの手順については、模造紙にまとめて、黒板に貼るようにする。</p> <p>○話し合いは以下の時間で進行させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙の書き出し 5分 ・マトリクスへの貼付け 10分 ・意見の深め合い 5分 <p>○各班の学活委員には以下の点を意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ルールやマナー」は校則にとらわれずに、日頃の学校生活を元に考える。 ・個人的な「ルールやマナー」でも受け入れ、批判はしない。 ・班内の発表は順番に行う。 ・守れている度は、学級全体の様子から判断する。 <p>付箋紙に自分の考えを書き、マトリクスを使って話し合っている。(観察)</p>
	<p>【自分たちのルールやマナーに対する意識について発表し合う】</p> <p>○班毎に話し合いの中で出された意見を班長がまとめて発表する。</p> <p>〈予想される意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要なものと重要でないものがある。 ・命に関わることや他の迷惑になることは重要だと考えている。 ・身なりや服装に関わることはあまり重要視されていない。 ・学習態度や清掃など個人の行動については、重要だと考えている人が多いが、心が弱くて守れないのではないか。 ・持ち物のルールについても、きちっと守る必要のあることと、多少自由でも良いと考えられる事柄がある。 ・服装を正すことが重要かどうかで話し合いの大半を使ってしまったが、話し合いの中ではなぜ重要なのか納得のいく意見は出されなかった。 <p>○他の班の意見に対して質問やもう少し詳しく聞きたいことがあったら質問し合う。</p>	12分	<p>○班長は、話し合いの中で出された特徴的な意見について全体に紹介する。</p> <p>○発表された内容については教師が黒板に整理しながら板書する。</p> <p>各班長の発表をしっかりと聞き、疑問点などを質問している。(観察)</p>
終 末	<p>○話し合いで出された意見をふまえて、今後「学級全員で守りたいきまり」について個人の考えをまとめワークシートに記入する。</p> <p>○「きまり」の内容だけではなく、理由も付け加える。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・「学級全員で守りたいきまり」を、守れていないきまりやまわりを守る理由から、導き出したい。 ・ワークシートは授業終了時に回収する。 <p>ワークシートに学級全体で守りたいきまりについて、理由と一緒に書いている。(ワークシート)</p>
<p>評価の観点</p> <p>A：身の回りのきまりについて、話し合いの中で積極的に意見を述べ合い、「学級全体で守りたいきまり」について自分の考えをもてる。</p> <p>B：身の回りのきまりについて考え、「学級全体で守りたいきまり」について自分の考えをもてる。</p>			

2 学級活動 2

<p>1 活動のテーマ 服装を整えることの大切さを考えることを通して、最上級生に向けての自覚をもとう。</p> <p>2 活動のねらい 自分の言動が周囲の人や所属する集団に影響を与えることを理解し、自分の行動を律する意識を高める。</p> <p>3 生徒の活動の経過と教師による指導・援助</p>			
	<p>生徒の活動 ※学級活動委員の活動</p>	<p>時間</p>	<p>指導・援助の留意点 評価の観点</p>
<p>導 入</p>	<p>【開会行事を行い、自主的に取り組もうとする意識を高める】</p> <p>○学級活動委員(学活委員)の司会で、授業を開始を宣言する。 ○教師の思いを聞く</p> <p>○話しやすい雰囲気作りと話し合い活動の練習として、ゲーム性のある予備活動を行い、自分の考えを話し、人の意見を聞く意欲を高める。</p>	<p>3 分</p>	<p>○話し合いのグループに移動して着席した状態から行う。 ○教師は学級全体で協力的に話し合いが行えることを希望する旨を話す。</p>
	<p>【予備活動：話を聞き合う練習】</p> <p>さいころトークミニ：他の人の話を聞く。 ・グループでさいころを振り、話題を決め、順番に話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(1)A 目玉焼きには醤油かソースか。 B なるのだったら社長か副社長か。</p> <p>(2)A 行ってみたい外国は。 B 最近の行事で楽しかったことは？</p> <p>(3)A 得意なのは短距離走か長距離走か。 B 暇なとき家で何をしてる？</p> <p>(4)A 好きな教科は何か。 B このクラスの良いところは？</p> <p>(5)A みんなで遊びに行くなら海か山か。 B 新しくイベントをやるなら○○大会</p> <p>(6)A 好きな色は何色？ B 最近気になるニュースと言えば何か。</p> </div> <p>※司会は共感的に聞くことを話し、安心して話せる雰囲気を作る。</p>	<p>5 分</p>	<p>○予備活動では、グループを作って行わせる。 ○話題については事前に班長に知らせておき、進行は各班の班長が行う。 ○教員は全体の時間の進行を管理する。</p>
	<p>【前時の活動を振り返り、本字の目当てをもつ】</p> <p>○学活委員が提示した前回の授業で発表された「ルールやマナーの特徴」と、「学級全員で守りたいルールやマナー」の報告を聞き、自分たちの課題をつかむ。</p> <p>〈発表内容〉</p> <p>①「ルールやマナーの特徴」として以下のことを確認する。 ・人に迷惑をかけないことは、ルールやマナーとして重要度が低いと考えて良いのではないか。</p> <p>②「学級で守りたいきまり」の中から、意見の多かったものを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装を整える(20) ・ヘルメットをかぶる(8) ・時間を守って生活する(4) ・言葉遣いを正しくする(3) ・ものを投げない(2) ・髪型を整える(1) ・授業に関係のないものは持ってこない(1) 	<p>5 分</p>	<p>○発表する内容②は模造紙に整理しておき、黒板に貼る。</p>
<p>【テーマを絞って、ルールやマナーを守ることの意義を考える】</p> <p>○「学級全員で守りたいきまり」から意見の多かった「服装を整えること」を取り上げて、その意義を「自分」「相手」「集団」の三つの視点から考え、表にまとめる。</p> <p>〈話し合いの手順〉</p> <p>①「服装を整えること」について、具体的にどんな点に気を付ける必要があるのかを確認し、なぜ守れないのかを一言ずつ述べ合う。</p>			<p>○取り上げるきまりの例については、学級活動委員に事前に検討しておく。 ○服装を整えることの内容として、前回出された意見を確認し合う。 ○服装を整えることの意義につ</p>

展 開	<p>(予想される意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着崩すことがかっこいいと思っている。 ・きちんと着ていることが格好悪いという風潮がある。 ・上級生として、下級生との違いを示したいと思う。 ・みんなができていないから自分もかまわないと思っている。 ・服装については自分の自由だと考えている。 ・自分の姿がどう見えているか気にしていない。 <p>②付箋紙に、服装を整えることの良い点、または服装を整えないと不都合な点を書き出す。</p> <p>③書き出された「不都合な点」を、「自分」「相手」「集団」の三つの視点から、マトリクスに分類する。</p> <p>④「自分」「相手」「集団」の三つの視点のうち、欠けている意見があれば補う。</p> <p>⑤三つの視点の中の意見について、優先順位を考える。</p> <p>(予想される意見)</p> <p>自分・人から信用されない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達ができなくなる ・周りから見たイメージが悪くなる ・先生から怒られる <p>相手・安心して勉強などに取り組めない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事などでも協力し合えない ・信用できない ・不愉快な気持ちになる <p>集団・集団に所属しているのが嫌になる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団全体が悪い印象で見られる ・行事などで評価が悪くなる ・練習試合などが組めなくなる <p>⑥特に上級生として意識しなければならない点は何かを考え、班からの提案をまとめる。</p>	20 分	<p>いては、「服装によって自分(本人)にどんな影響があるか」「服装によって相手の感じ方がどう変わるか」「服装が整わない集団と服装が整っている集団では、周囲からどのように見られるか」という視点で整理をさせる。</p> <p>○「相手」「集団」の視点からの意見が考えられない場合には以下の点を意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相手」からの視点では、特に「服装がだらしない人」「悪い服装の人」を見てどう感じるかや、一緒に生活しているとどう感じるかを班長に引き出させる。 ・「集団」での視点では、「他校の生徒」や「地域の大人」にどのように見られるか、その結果どのような影響が生じるかを班長に引き出させる。 <p>付箋紙に自分の考えを書き、マトリクスを使って話合っている。(観察)</p>
	<p>※学級活動委員は話合いの前に付箋紙と台紙を用意しておく。</p> <p>【自分たちの考えたルールやマナーを守る意義を発表し合う】</p> <p>○話合いの大まかな様子と提案を発表し合い、服装が相手に与える影響や、個人の行動が集団に与える影響について確認し合う。</p> <p>(予想される意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の学校や地域の大人から〇〇中学校はいい学校だと言われたい。そのためには服装からしっかり整えたい。 ・服装一つで相手に安心感や信用を与えることになる。3年生になると受験などもあるので、今から服装や身だしなみに意識を払えるように生活したい。 	7 分	<p>○班長は上級生として意識しなければならない点をふまえ、班からの提案を発表する。</p> <p>○発表された内容は教師が黒板に整理しながら板書する。</p>
	<p>【保護者の視点からルールやマナーを守る意義を】</p> <p>○「親からのほっとめーる」を2～3例紹介し、親が考える「きまりを守ることの意義」をとらえさせる。</p> <p>※司会は数名を指名して感想を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分」「相手」「集団(家族・会社)」にとってどんな良い点があるかを考えさせる。 	5 分	<p>○ほっとめーるは事前を選んでおいたものを、一部修正して教員が紹介する。</p> <p>保護者の思いをとらえて、感想を述べている。(観察)</p>
ま と め	<p>○学級全員で守りたいルールやマナーの話合いや親からのほっとめーるの内容をふまえて、「自分が心がけたいルールやマナー」について目標を設定し、目標カードに記入する。</p>	5 分	<p>○目標カードはなるべく具体的に書かせ、授業後に回収する。</p> <p>目標カードに、自分の心がけたいことをまとめていく。(ワークシート)</p>
<p>評価規準</p> <p>A：服装や身だしなみが周囲にいる人や所属する集団に影響を与えることを、話合いをとおして理解し、自分の行動をよりよくする目標をもつことができる。</p> <p>B：服装や身だしなみを整えることの意義について考え、自分の行動をよりよくする目標をもつことができる。</p>			